

「通勤ライナー」の実証運行

～快適な通勤環境を創出し
「マイカー」から「バス」への利用転換を目指して～



通勤ライナー到着時の様子(県庁北口)

総合事務局では通勤急行バス「通勤ライナー」の実証運行を、令和3年1月18日から29日まで(平日のみ)行いました。
※環境・運輸部門における「酸化炭素排出量」「2.輸送量当たりの二酸化炭素の排出量」
国土交通省
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

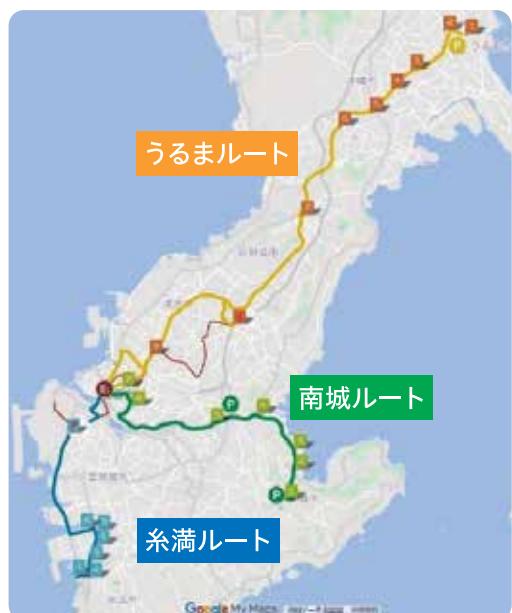
このような現状を改善するため、沖縄
マイカー利用はバスの約2.5倍の二酸化
炭素を排出するため^{*}、地球温暖化対策
の観点からも公共交通利用促進が急務と
なっています。

「マイカー通勤」の現状

沖縄県では自動車保有台数が年々増
加し、マイカーが主な移動手段となり、バ
スをはじめとする公共交通の利用率が低
く、特に朝夕の通勤時間帯を中心に、慢
性的な交通渋滞が発生しています。また、
マイカー利用はバスの約2.5倍の二酸化
炭素を排出するため^{*}、地球温暖化対策
の観点からも公共交通利用促進が急務と
なっています。

実証運行の内容について

今回の実証運行においては、「うるま
ルート」(具志川バスターミナル～県庁北
口)、「南城ルート」(南城市役所～県庁南
口)及び「糸満ルート」(糸満バスターミナ
ル～県庁北口)の3つのルートにおいて、そ
れぞのルートで朝2便、夕刻2便ずつ
運行しました。運賃は無料で、ゆったり
座るなどのできる貸切バスを用意しまし
た。車内では無料のWi-Fi、モバイルバッ
テリーを設置。自由にパソコンやスマート
フォンが使用できるようになりますなど、より
快適に通勤をするとができる環境を整
えました。また、マイカーから「通勤ライ
ナー」に乗換(パーク&バスライド)ができ
るよう、駐車場を準備したほか、車内で
渋滞状況に応じた到着予定時刻の隨時
情報提供を実施し、「うるまルート」及び



「糸満ルート」においては、
モノレールの駅と接続し、
渋滞状況に応じて、モノ
レールへの乗り換えが選択できるよう
しました。「ご利用いただきました方には、
アンケートへご協力をいただき、「無料
Wi-Fiの上に、各駅停車では無いので運
行もスムーズ」、「マイカー通勤のように
駐車場を探す必要がないので楽だった」
などのご意見をいただいているといいです。
沖縄総合事務局では、今回の実証実験
におけるアンケートの結果を踏まえ、今後、
路線バス事業としての運行の可能性につ
いて検討を行い、「マイカー通勤からバス通
勤への利用転換の促進を図って参ります。

お問合せ先
運輸部 企画室

☎ 098-866-1812